

ダウン症候群の健康管理（愛知県心身障害者コロニー中央病院）

当院で行っているダウン症候群の定期的健康管理の目安です。

出生から1ヶ月まで

○ この時期は一般的な新生児の検診に準じます。ご両親の疑問に答える形で今後の健康チェックや子育てについてお話しします。心臓病などの合併症がある場合はそちらの治療が優先されます。

- 診察（合併症のチェック）
- 心エコー（先天性心疾患や肺高血圧症の有無）
- 血液検査（一過性骨髄異常増殖症のチェック） 生後なるべく早期に赤血球数、白血球数、血液像、血小板のチェックをします。
- 染色体検査（Gバンド分染法で確認します）
- ガスリー検査（甲状腺機能低下症等のスクリーニング）
- 眼科（先天性白内障のスクリーニング）
- 聴カスクリーニング（新生児スクリーニングとして）
- ダウン症候群についての説明（染色体疾患の概説、ダウン症の型、成因、遺伝、成長のことなど）

2ヶ月から1歳（診察の間隔： ほぼ 1/2～4ヶ月）

○ 家庭では特別な扱いは必要なく、一般的な子育てに準じて過ごしていただいて問題ありません。予防接種も予定通り受けます。発達段階に応じて理学療法（リハビリテーション）を始めます。運動面ではゆっくりした発達ですが、他者への関心やおもちゃへの好奇心の芽生えは特に遅いわけではありません。

- 診察（体重増加、哺乳、便秘など [体重増加はダウン症児の成長曲線を元に判断します]）
- 眼科（新生児期に受診していない場合）
- 耳鼻科（難聴のスクリーニング：新生児期に受診していない場合1歳までに）
- 甲状腺機能検査（12ヶ月頃）
- 理学療法（リハビリテーション科）の紹介
- 遺伝カウンセリングの案内

1歳から3歳（診察の間隔 1/3～6ヶ月）

○ 周りへの興味がさらに広がってきます。食事の好き嫌いなどの自己主張が出はじめます。

- 診察（成長、発達、睡眠、便秘、摂食など）
- 予防接種の確認
- 事故防止のパンフレット
- 療育手帳などの制度の案内（MSW）
- 歩行時の足関節の不安定性や扁平側の評価。要すれば補装靴の作成（整形外科）
- 親子通園施設など地域の療育の案内や確認

3歳時定期検診

- 整形外科的合併症のチェック（整形外科にて環軸椎、四肢関節など）
- 眼科スクリーニング
- 血液、甲状腺ホルモン検査
- 歯の衛生のこと
- 発達の評価（言語面、社会面など）
- 療育手帳などの確認

3歳から6歳（診察の間隔：1／4～12ヶ月）

○ 通園施設や保育園に通い始めます。ひとりひとりの個性がはっきりしてきます。

- 食生活の指導
- 言語療法について
- 保育園での生活の問題
- 自閉傾向や多動傾向の確認
- 靴選びについて

6歳時定期健診

○ 小学校に入る前に一通りの健康チェック、発達のチェックをします。

- 整形外科的合併症のチェック（整形外科にて環軸椎、四肢関節など）
- 眼科検診（特に屈折異常の評価）
- 扁桃肥大の評価、いびきの有無など
- 血液、甲状腺検査
- 就学の確認、学校での対応のこと

6歳から12歳（1～2／年）

○ 小学校での生活の様子を確認します。対応のことでしばしば相談を受けます。子どもたちは大人が思っているよりもずっと思慮深く感受性が豊かです。生涯にわたって楽しめる趣味や好きなことを見つけるのもこの時期です。

- 整形外科的合併症のチェック（整形外科にて）
- 皮膚や円形脱毛の問題
- この間に1回は聴力検査
- 肥満について
- 扁桃肥大、いびき、睡眠時無呼吸について
- 高学年では心理的脆弱性について

13歳から18歳（1～2／年）

○ 二次性徴は平均的な時期に始まり、自意識の高まりとともに人間関係で心の変化を受けやすくなります。「青年期の心因反応、うつ状態」の予防にも配慮します。物事の決定に際しては、ご本人の意志を確認してすすめることが大切です。

- 1年に一度は甲状腺ホルモンの検査（甲状腺自己抗体も含めて）
- 数年に一度は眼科検査
- （数年に一度は聴力検査）
- 扁桃肥大、いびき、睡眠時無呼吸について
- 性的な問題の対応（実際に性的な問題で困ることは多くありません）
- 青年期のうつ状態、心因反応、適応障害について説明
- 将来のかかりつけの地元の内科医師を選んでおきます。

18歳～（1～2回／年）【コロニーライブラリー内 ダウン症のある成人の健康管理】

○ 成人期の合併症について、可能であれば毎年検診を受けます。職場の方の理解が大切です。成人式ではご本人たちの自覚が高まります。言葉遣いも大人として接します。

- 就職時の配慮　――　本人の自信を大切にすることの対応が望まれます。
- 甲状腺検査（1回／年）　――　約1割の方に甲状腺機能異常がみられます。
- 高尿酸血症の検査（1回／年）　――　ダウン症の方は体質的に尿酸が高く、痛風発作、痛風腎の合併が多いです。
- 数年に一度　聴力検査
- 数年に一度　眼科検査（白内障の早期発見）

- 性的な問題の対応など
- 障害年金などの制度の説明

30歳～

○ 環境に慣れて安定しています。成人病の検診は必須です。親からの自立に向けて環境を整えて行きます。

- 甲状腺ホルモン検査（1回／年）
- 高尿酸血症の検査（1回／年）
- 数年に一度 聴力検査
- 数年に一度 眼科検査（白内障の早期発見）
- 成年後見人、自立支援施設、入所施設、ショートステイなどの制度の確認

文責：愛知県心身障害者コロニー中央病院 小児内科 水野誠司

最終更新日 2015/12/25